

「高等学校における進路指導の在り方に関する調査研究」

事業実施報告書

団体名 ( 宮 城 県 )

1 事業の実施期間 平成22年9月1日から平成23年3月31日

2 調査研究の実績

(1) 調査研究のテーマ

テーマ：社会的・職業的自立へ向けた「志教育」の推進  
～普通科高等学校における学校教育と社会との円滑な接続を目指して～

【多賀城高等学校】

1 学校の概要

○課程・学科・学年別生徒数、学級数

課程：全日制 学科：普通科

学年別生徒数、学級数

第1学年：生徒数(280 男子155 女子125) 学級数(7)

第2学年：生徒数(277 男子137 女子140) 学級数(7)

第3学年：生徒数(277 男子143 女子134) 学級数(7)

○教職員数(61名)

校長(1) 教頭(1) 教諭(46) 実習講師(1) 常勤・非常勤講師(5) 事務職員(7)

○卒業後の進路状況(平成21年度卒業生：274名)

国公立大(27) 国公立短大(1) 私立大(149) 私立短大(5) 専門学校(高看含)(52)

就職(9) 受験準備(31)

○部活動(1年次のみ全員加入、2・3年生は希望者)

運動部加入率(56.2%) 文化部加入率(34.8%) 合計：91%

(男子：67% 女子：45.4%) (男子：21.5% 女子：48.1%)

○学校運営方針におけるキャリア教育の位置づけ

創立35年目を迎える本校は、地域の進学校として期待がますます高まっており、その期待に応えるため更なる学力の向上と進路の実現、そして部活動・学校行事等による人間的成長を図るために努力を怠ってはならない。この目標を達成させるために、生徒一人一人に対応したきめ細やかな指導と支援を行う。

そのための5項目からなる重点目標と指導の重点(1進路目標を達成できる確かな学力が身に付くよう支援する。2進路目標が達成できるよう支援する。3部活動と学業との両立を支援する。4生徒の規律ある学校生活を支援する。5信頼される学校づくりを推進する。)の2項目の中に、キャリア教育を授業等の活動及び進路指導の観点から位置づけている。

2 調査研究の実績

(1) 調査研究のテーマ

1) 「社会人講話」(進路探求ワークショップ)をとおして、生徒の進路意識の変化を調査する。

① 2年生は、2年間の「社会人講話」をとおして、意識がどのように変化したのかを調査・分析する。

② 1年生は、「社会人講話」をとおして、その前後における意識の変化を調査・分析する。

③ 「社会人講話」の効果を高めるため、「社会人講話」の前後における進路講演会等の進路指導、及び全体の進路指導における位置づけについて研究する。

<具体策> 社会人講話とその前後の指導によって、生徒の意識がどう変化したのか  
を見るアンケートの作成と分析

2) 教職員のキャリア教育研修の充実を図る。

- ① 先進校県外視察（具体策：文部科学省調査研究校 平成19～3ケ年間、秋田県立能代高校の視察）
- ② 校内研修会（具体策：キャリア教育概論及び対応について校内での講演・研修）
- ③ キャリア教育アドバイザー委員会によって、上記①、②について指導・助言・評価を受ける。
- ④ 今までの進路指導内容をキャリア教育の視点で整理する。

(2) 調査研究の内容

1) 「県外視察研修」（秋田県立能代高等学校・10月22日・本校4名派遣）

<研修内容>

① キャリア教育について

- ・ 3ケ年間を見通したキャリア教育指導体制
- ・ 生徒に対する指導内容（学校全体としての方針・システム、各学年・教科としての取組み、特徴的な取組み）
- ・ 評価（自己・外部）と分析について

② 基礎基本の学習内容の定着と「確かな学力」について

学校全体としての方針・システム、教科としての取組み、特徴的な取組み

③ 進路指導計画及び進路資料の活用方法

2) 「出前授業」（2年生・11月11日）

11講座（東北六県4年制大学教授・准教授を講師）

講義Ⅰ・Ⅱ（各50分の2コマ）の2講義を選択受講

3) 「キャリア教育校内研修会」（教職員対象・11月19日）

講師：本図 愛実 宮城教育大学・准教授

テーマ：「キャリア教育が目指すもの」（75分）

4) 「社会人講話」（1年生・12月9日）

講義①・②（各40分の2コマ・38講座）の2講義を選択受講

講話前後においてアンケートを実施

5) 「進路講演会」（1年生・12月16日）

講師：河合塾文理 佐々木 一幸 氏

テーマ：「1年生における進路と学習」

6) 「進路ガイダンス」（1・2年生・1月20日）

テーマ：推薦入試合格者による合格へのアドバイス

7) 「社会人講話」（2年生・1月27日）

講義①・②（各40分の2コマ・38講座）の2講義を選択受講

講話前後においてアンケートを実施

8) 「進路講演会」（2年生・2月3日）

講師：河合塾文理 大場 正浩 氏

テーマ：「3年生0学期・覚悟を決める。そして志は高く」

9) 「キャリアアドバイザー委員会」（校内キャリア教育推進委員とキャリアアドバイザー委員・2月22日）

- ・ 事業報告
- ・ 「社会人講話」とその前後の進路指導の取組みについて
- ・ 「社会人講話」前後におけるアンケートの内容と結果分析
- ・ 「社会人講話」の今後の課題と展望

10) 「社会人講話」をとおして、生徒の進路意識の変化を調査する。

① 「社会人講話」（1年生対象）の年度比較による実施効果の確認

「社会人講話」（1年生）平成21・22年度アンケートを比較する。

②「社会人講話」（2年生対象）の実施効果確認のためのアンケート作成  
「社会人講話」（2年生）事前・事後アンケートの作成

(3) 推進組織体制

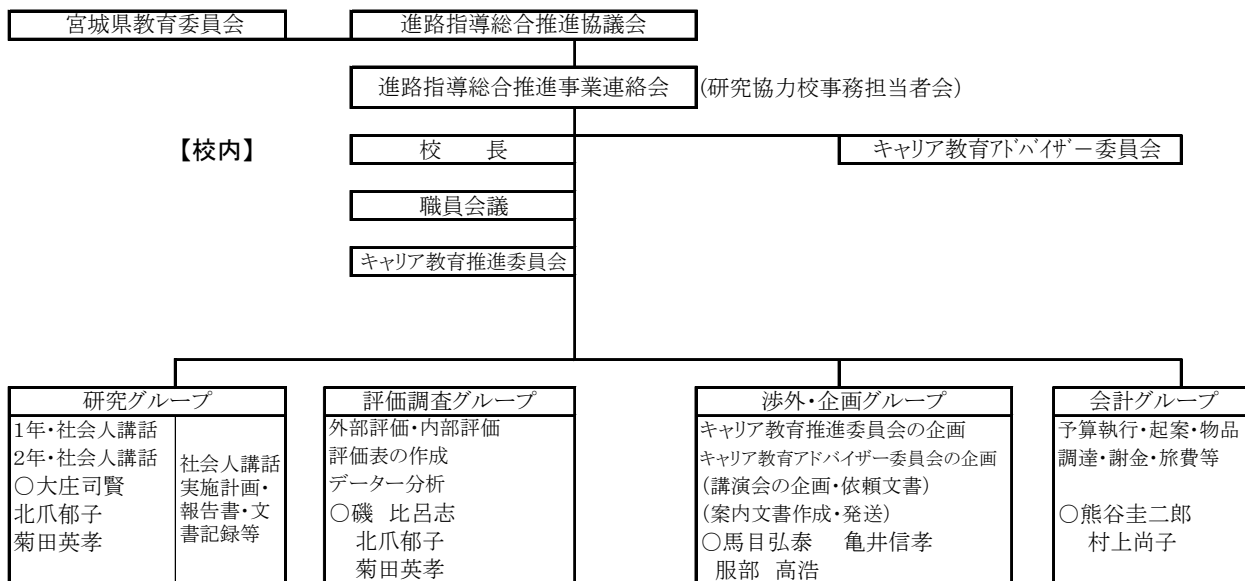
1) キャリア教育推進委員会(調査研究の企画・運営組織)

氏名	所属	職等	担当分担(役割)
武田 和夫	多賀城高等学校	校長	実施責任者
千葉 茂	多賀城高等学校	教頭	統括・キャリア教育推進委員会委員長
服部 高浩	多賀城高等学校	主幹教諭・研究教務部長	統括補佐・キャリア教育推進委員会副委員長
高橋 啓	多賀城高等学校	事務室長	会計
菊田 英孝	多賀城高等学校	教諭 2学年主任・キャリア教育主担当	校内連携・研究
北爪 郁子	多賀城高等学校	教諭 1学年主任 キャリア教育副担当	校内連携・研究
亀井 信孝	多賀城高等学校	教諭 進路指導部長	校内連携・研究
馬目 弘泰	多賀城高等学校	教諭 1学年 進路指導部	研究
大庄司 賢	多賀城高等学校	教諭 2学年副主任 情報管理部	研究
磯 比呂志	多賀城高等学校	教諭 2学年 進路指導部	研究
熊谷 圭二郎	多賀城高等学校	教諭 2学年 進路指導部	研究
村上 尚子	多賀城高等学校	主査	会計

2) キャリア教育アドバイザー委員会(調査研修の指導組織)

氏名	所属	職	指導領域・分野
本図 愛実	国立大学法人宮城教育大学	准教授	調査研究の指導・助言、評価
中山 聖子	NPO法人 ハーベスト	代表	調査研究の指導・助言、評価
松浦 智博	株式会社 デュナミス	キャリア開発支援事業部長	調査研究の指導・助言、評価

3) 推進事業組織図



\*「出前授業」、「進路講演会」、「進路ガイダンス」の調査研究事業は、進路指導部と学年が連携して実施。

(4) 実施日程

時期	内容	備考
9月2日	進路指導事業連絡会議 (①事業概要について②今後の研究の進め方③実施計画について④予算について)	参加人数2名
9月8日	校内運営会(1) (事業計画、校内組織体制、事業経費予算、担当者)	参加人数6名
9月24日	校内運営会(2) <上記校内運営会(1)検討>	参加人数6名
10月4日	進路指導総合推進事業第2回担当者会(進路指導事業連絡会に名称変更) (①平成22年度事業実施体制・事業計	参加人数2名

	画・予算②第1回推進協議会について)	
10月15日	「社会人講話」(1・2年生)事前打合せ(1年生の企画・準備、2年生の企画・準備、また、「社会人講話」前後のアンケート、2回目実施の2年生のアンケート内容の検討、経過分析方法の検討)	参加人数4名
10月22日	県外視察研修・学校訪問(秋田県立能代高等学校①3ヶ年間を見通したキャリア教育指導体制②評価と分析について③基礎基本の学習内容の定着と確かな学力)	参加人数4名
10月25日	進路指導総合推進事業第1回推進協議会 ①平成22年度事業実施体制について ②平成22年度事業計画について ③研究協力校	参加人数 1名
11月11日	「出前授業」(2年生) 11講座(東北六県4年制大学教授・准教授を講師) 講義Ⅰ・Ⅱ(各50分の2コマ)の2講義を選択受講	参加人数303名
11月19日	「社会人講話」(1年生)事前打合せ ①最終打合せ(会場・運営・準備) ②事前・事後アンケート内容検討	参加人数3名
11月21日	夢と志フォーラム(県教委主催)	参加人数2名
12月 1日	「キャリア教育校内研修会」(教職員対象) 講師:本岡 愛実 宮城教育大学・准教授 テーマ:「キャリア教育が目指すもの」(75分)	参加人数40名
12月 9日	「社会人講話」(1年生) 講義①・②(各40分の2コマ・38講座)の2講義を選択受講 講話前後においてアンケートを実施	参加人数320名
12月21日	進路指導総合推進事業第3回担当者会 ①進路指導総合推進事業進捗状況について ②成果発表会について ③リーフレット作成について	参加人数2名
12月21日	「社会人講話」(2年生)事前打合せ ①最終打合せ(会場・運営・準備) ②事前・事後アンケート内容確認	参加人数2名
1月11日	「進路講演会」(1年生) 講師:河合塾文理 佐々木 一幸 氏 テーマ:「1年生における進路と学習」	参加人数293名
1月20日	「進路ガイダンス」(1・2年生) テーマ:推薦入試合格者による合格へのアドバイス	参加人数588名
1月27日	「社会人講話」(2年生) 講義①・②(各40分の2コマ・38講座)の2講義を選択受講 講話前後においてアンケートを実施	参加人数320名
2月 3日	「進路講演会」(2年生) 講師:河合塾文理 大場 正浩 氏 テーマ:「3年生0学期・覚悟を決める。そして志は高く」	参加人数293名
2月22日	「キャリアアドバイザー委員会」(校内キャリア教育推	参加人数11名

3月 2日	進委員とキャリアアドバイザー委員) ・「社会人講話」とその前後の進路指導の取組みについて ・「社会人講話」前後におけるアンケートの内容と結果分析 ・「社会人講話」の今後の課題と展望  進路指導総合推進事業報告会 ・事業総括 ・研究協力校発表	参加人数3名
-------	--	--------

(5) 調査研究の成果

1) 調査研究により得られた成果

- ① 「社会人講話」（1年生対象）の年度比較による実施効果を確認できた。  
 <資料「社会人講話（1年生）」事前・事後アンケート集計結果>
- ② 「社会人講話」（2年生対象）の実施効果確認のためのアンケートを作成した。  
 <資料「社会人講話（2年生）」事前・事後アンケート集計結果>
- ③ 教職員のキャリア教育研修の充実を図った。  
 ・ 県外視察研修、校内研修、キャリア教育アドバイザー委員会によってこれからのキャリア教育に対する学校・教職員の在り方、姿勢を知る一步となった。  
 <資料「県外研修」「校内研修」「キャリア教育アドバイザー委員会」の各記録>

2) 成果の普及に関する取組み

- ① 「社会人講話」による進路に関する意識付け・刺激をその前後における進路講演・進路ガイダンス等の行事で再認識させる3ヶ年を見通した進路指導を本校作成の研究紀要「多高の歩み」に掲載し、他高への紹介を図る。
- ② 進路指導総合推進事業における広報用冊子「報告書」に掲載する。

(6) 今後の課題

- 1) 2年生対象の「社会人講話」の効果を確認すること。  
 1年生対象の「社会人講話」は、事前・事後アンケート等によって効果を確認できたが、2年生の場合、初めての実施で、次年度の実施によって効果が確認できる。そのためにも今年度のアンケート等のデータ分析・整理をおこなっていく必要があると考えられる。
- 2) 「社会人講話」（1・2年生）の事前・事後アンケートの検証と2年生アンケート作成  
 3ヶ年間の進路指導における「社会人講話」の位置づけとより効果ある内容にするためのアンケート内容の検討と経年比較できる2年生におけるアンケート作成の吟味が必要と考える。
- 3) 3ヶ年間の進路指導における「社会人講話」の事前・事後の進路指導について  
 平成21・22年度1年生の約7割の生徒が進路に関する情報収集に自信がないというアンケートの結果を分析し、より一層効果的な事後指導の対策を図ることが必要と考えられる。  
 ＊参考資料  
 学校評価アンケート（平成21・22年度12月実施・生徒全員対象）  
 質問項目「自分は進路目標を達成するために講習・進路情報などを積極的に活用している。」  
 アンケートの適合度「そう思う」：5、「大体そう思う」：4  
 「どちらでもない」：3 「あまりそう思わない」：2 「そう思わない」：1  
  
 平成21年度：2.99（1年生） 2.97（2年生） 3.55（3年生） 3.16（全体）  
 平成22年度：3.20（1年生） 3.20（2年生） 3.50（3年生） 3.30（全体）